

①整備用

MST-8R クイックスタートガイド

重要：ご使用前に必ずお読みください

この度はMST-8Rをご購入いただき誠にありがとうございます。本書を参考にユーザー登録、アップデートを行なった後にご使用ください。

1. セット内容の確認

製品が全て揃っていることをご確認ください。

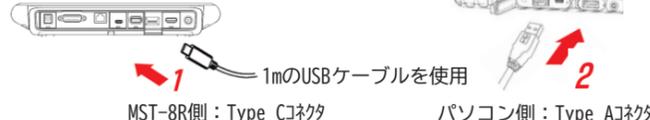
- MST-8R 本体 (1台) □ USB Type Cケーブル (2本) □ ACアダプタ※ (1個) ※Wi-Fi 接続でアップデートを行う場合に使用します。
- OBD2ケーブル (1本) □ キャリングケース (1個)
- シガーライターケーブル (1本) □ スキャンツールホットライン資料 (1部) □ 液晶保護フィルム (1枚) (1部) □ クイックスタートガイド(本書) (1部)

・万一、不足品や製品の一部が破損していた場合は、お買上げ日から1ヶ月以内にお買い上げの販売店へお申し付けください。
・セット内の製品は品質向上のため予告なく変更する場合があります。予めご了承ください。

2. パソコンとの接続とファイルの表示

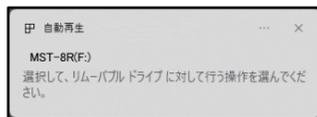
1. 付属のUSBケーブル(1m)を使用して本体のUSBポートとパソコンのUSBポートを接続します。

本体のカバーを開きます。



・パソコンとの接続は、必ず付属のUSBタイプCケーブル(1m)をご使用ください。
・インターネット接続されているパソコンで実施してください。

2. 本体が「MST-8R」の名称でパソコンに認識されます。



3. 「フォルダーを開いてファイルを表示」をクリックして本体内のファイルを表示します。

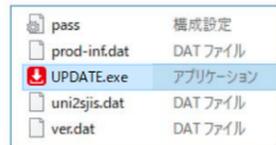


・自動再生が有効でない場合は、PCの「デバイスとドライブ」から「MST-8R」を開いてください。



3. ユーザー登録

1. 表示されたファイル一覧から「UPDATE.exe」ファイル(.exeは拡張子)を開きます。
※UPDATEプログラムはWindows10以降に対応しています。

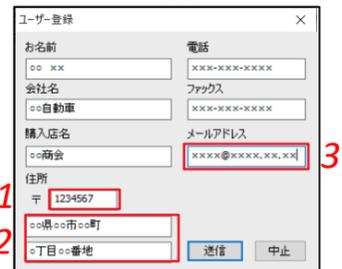


2. [登録内容変更]をクリックすると、「ユーザー登録につきまして」(プライバシーポリシー)が表示されます。内容を確認して[同意する]をクリックします。



・同意する為にはインターネット通信を行う必要があります。
・「書き込みできません」のエラーが表示された場合は、セキュリティソフトにより通信がブロックされていないか確認してください。

4. 「ユーザー登録」入力画面が表示されます。すべての入力欄にお客様の情報を入力してください。



1. 〒 (郵便番号) は半角、ハイフン無しで入力してください。
2. 住所は2行とも入力してください。
3. メールアドレスは半角英数で入力してください。
メールによる認証作業がありますので、必ず確認できるメールアドレスを入力してください。

5. 入力情報に間違いがないことを確認して[送信]をクリックしてください。(未入力項目があると送信することができません)

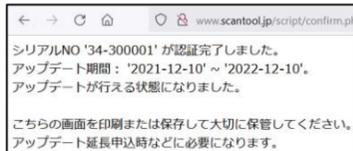
正常に送信されると「メールを確認して認証を行ってください。」のダイアログが表示されます。

6. メールを受信フォルダを確認すると「admin@scantool.jp」から「scantool.jp 登録受付メール」が届いています。メールを開いて本文にあるリンクをクリックしてください。



・認証確認メールが届かない場合は迷惑メールをご確認ください。
・リンクをクリックしてもエラーが表示されたり、アップデート期間が表示されない場合は、登録受付メールを再度ご確認ください。お客様情報を送信された回数分登録受付メールが配信されますので、最新の登録受付メールをご確認ください。

9. リンクをクリックすると、ご使用のブラウザが起動して認証が完了したシリアル番号とアップデート期間が表示されます。



・アップデート期間・本体保証期間は登録日より3年です。
・登録完了メールは迷惑メールフォルダに振り分けられる場合があります。

10. 以上でユーザー登録は完了です。続いてアップデートを行い、最新のソフトを本体にインストールします。

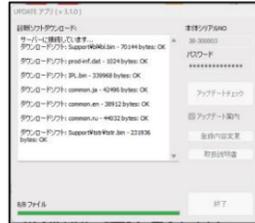
4. アップデートおよび取扱説明書のダウンロード

本体とPCとの接続やアプリケーションの起動は、本書の「2. パソコンとの接続とファイルの表示」を参考にしてください。

1. 「UPDATEアプリ」の[アップデートチェック]をクリックします。

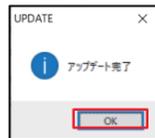


2. ダウンロードが開始され、本体内に保存されます。



・ダウンロード完了まで、USBケーブルを取り外さないでください。

3. アップデートが完了すると「アップデート完了」が表示されます。



・「書き込みできません」のエラーが表示された場合は、セキュリティソフトにより外部記憶媒体への書き込みが禁止されていないか確認してください。
・管理者権限のあるアカウントで実行されているか確認してください。

4. 以上でアップデートが完了しました。

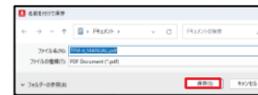
5. 続いて取扱説明書をダウンロードします。「UPDATEアプリ」の[取扱説明書]をクリックします。



6. 取扱説明書のダウンロードが開始されます。



7. ダウンロードが完了すると保存先を指定できますので、任意の場所に保存してください。



8. 保存した場所からダウンロードしたPDFファイルが確認できます。

9. 「ハードウェアの安全な取り外し」を実行した後にMST-8Rを取り外してください。

注意

セキュリティソフトについて

本体をパソコンに接続した場合や、「UPDATE.exe」(アプリケーション)を実行した場合に、セキュリティソフトが反応してアプリケーションを削除、または隔離したり、通信をブロックすることがあります。その場合は、セキュリティソフトの設定を変更していただく必要があります。

UPDATE.exe (アプリケーション) について

万が一アプリケーションが削除された場合は、下記リンク先よりダウンロードして、本体内に保存してください。
<http://www.scantool.jp/downloads//update/UPDATE.exe>

アップデート時のエラーについて

「書き込み出来ません」などのエラーが発生してアップデートが正常に行えない場合は、セキュリティソフトの設定を確認していただくとともに 本体内部メモリのフォーマットが必要な場合があります。フォーマット前にアップデート期間内であることをご確認いただき、以下のファイルをパソコンにコピーして保存してください。

- ・UPDATE.exe (アプリケーション)
- ・pass.ini (構成設定ファイル)

保存後フォーマットを行います。フォーマット後保存した2つのファイルを本体内部メモリに戻して再度アップデートを行ってください。

取扱説明書のダウンロードについて

取扱説明書のダウンロードは「UPDATE アプリ」の[取扱説明書]をクリックし、保存場所をご指定いただきダウンロードできます。



特定DTC 照会アプリについて

OBD 検査でご使用になるパソコンに特定DTC 照会アプリを事前にインストールしてください。詳しくは「OBD 検査ポータル」サイトをご覧ください。

本体保証について

本体保証期間 ユーザー登録から3年間

※次ページへ続く

5. 各部名称

リセットキー 実行中の機能の中断やMST-8Rの再起動に使用します。	USBポート 付属のUSBケーブルでパソコンに接続します。	DIAGNOSTICポート OBD2 ケーブルを接続します。	DC-IN シガーライターケーブルを接続します。(OBD2コネクタに電源供給がない車の場合)
--	---	--	--

液晶モニター (タッチパネル)
各種情報を表示します。

スタンド
本体を立てたり、車両のハンドルに掛けたりします。

6. 整備用アプリ画面説明

1. メニュー画面
ホームアプリ起動時に一番最初に表示する画面です。

診断 各種診断を行います。	特殊機能 メンテナンスモード、DPF再生、エーミング、簡易バッテリーテスト、J2534 モードを行います。	OBD II グローバルOBD2ソフトで診断を行います。	車両登録 車両情報を登録し、入庫車両毎に管理が行えます。
-------------------------	---	--	--

更新 ソフトウェアのアップデートを行います。	履歴 保存した故障コードやデータなどを画面に表示することができます。	設定 言語や日時など本体設定を行います。	本体 ID 本体シリアルNo.、アップデート期間を表示します。
----------------------------------	--	--------------------------------	---

2. 故障コード表示画面
故障コードコードと詳細を表示する画面です。

故障コード 故障コードがP, C, B, U の頭文字と数字で表示されます。 ※一部表示方法が異なるメーカー、年式があります。	故障コード内容 故障コードに対しての内容を表示します。
--	---------------------------------------

データ保存・印刷 本体内に保存する場合は「データ保存」、専用プリンターで印刷する場合は「印刷」を選択します。	フリーズフレーム ECU が故障と判断して確定させた瞬間の各センサー値が表示されます。	DTCヘルプ 推定故障部位や故障コードの検索条件などの情報が表示されます。
--	---	---

7. 基本操作 診断を行う場合は以下の手順で操作してください。

- ・ソフトのアップデートを行い、最新の状態でご使用ください。
- ・本体やケーブルに破損や損傷がないか確認してご使用ください。
- ・診断は基本的にイグニッション “ON” の状態で行ってください。
- ・診断がうまくいかない場合はコネクタの接続やイグニッションが “ON” であるか確認してください。
- ・診断を終了する際は「メーカー選択」画面まで戻りイグニッションを “OFF” にしてください。
- ・各種作業を行う際は整備マニュアルを参考に作業を行ってください。
- ・車両のバッテリー電圧が正常な状態で診断を行ってください。

基本操作 (例: 全自己診断)

1. 車両がイグニッション “OFF” であることを確認します。MST-8R を車両に接続してからイグニッション “ON” にします。
2. メインメニューが表示されます。「診断」を選択します。
3. メーカー選択画面が表示されます。診断するメーカーを選択します。
4. 診断ソフトが起動した後「地域設定」などがある場合は選択します。
5. 診断ソフトによっては「自動検出」から診断車両を特定できます。「自動検出」を選択します。
6. 「ブランド」「車名」「型式」などを順に選択していきます。
7. 診断ソフトのメインメニューが表示されます。故障コードの読取りは「診断」を選択します。
8. 例では全てのシステムを診断しますので「全自己診断」を選択します。
9. 車両の各システムの故障コードを読取ります。
10. 全自己診断完了の画面です。「診断結果」「印刷」「データ保存」「全自己診断の消去」の項目から選択してください。

診断結果の表示

故障コードがない場合はシステム名の後に「OK」が表示されます。故障コードがメモリされている場合は故障コードの数が表示されます。(例: コードが2 個ある場合「2DTC」)
故障コードと内容を確認するには確認するシステムを選択して「ENTER」ボタンを押します。続いて「故障コードの読取り」を選択して「ENTER」ボタンを押します。



診断結果の印刷

※印刷にはオプションのBluetoothミニプリンター (型式: TPM-PR3) が必要です。
※「ENTER」ボタンを押す前にプリンターの電源を “ON” にしておいてください。



診断結果の保存

診断結果の保存は「データ保存」にカーソルを合わせて「ENTER」ボタンを押します。データの保存先は本体内の「Reports」フォルダです。
※フォルダ内にファイルが増えてくると保存ができなくなります。保存された毎にパソコンに移動することを推奨します。



診断結果の消去

場合は「全自己診断の消去」を選択して「ENTER」ボタンを押します。各システムの故障コードを自動で消去していきます。
※消去はイグニッション “ON” で行います。
※消去できない場合は、現在も故障が発生しており現在故障としてコードがメモリされている状態です。必要に応じて整備を行ってください。



・詳しい使用方法や機能については取扱説明書をご参照ください。
・必要に応じて車両の整備マニュアルをご確認ください。